

古くから農耕の神を祀る展望と信仰の山

稲 含 山(1370.0m)



[山 行 日] 2022年6月19日(日)

[集合、出発] 野木町役場 7時 思川道の駅 7時15分

[交通、費用] マイカー2台 一人3100円

[参 加 者] 11名 CL:Y SL:N
M、M、O、K、K、S、F、N、A(会員外)

[コース]

野木役場 7:00 思川道の駅 7:15—太田桐生 IC—富岡 IC—神の池駐車場
—登山口—一の鳥居—茂垣峠—赤鳥居—分岐—稲含神社—稲含山山頂
—往路戻る 車で移動—こんにやくパーク—甘楽の湯ふるさと館入浴

[トイレ] 神の池下のトイレとても綺麗、神の池公園トイレも使用可

[感想文]

山行が予定されていると、週間天気予報がいつもより気になります。週間天気予報では曇り・雨マークが取れず、もんもんとした日々を過ごしていました。しかし、当日はお天気に恵まれすぎたくらいの陽気で、それだけでも大満足でした。

稲含山の登り口に到着すると、自然の声がお出迎え。残念ながら私の能力では区別が付きませんでした。鳥、セミ、カエルの大合唱でした。手入れの行き届いた山道の途中、「褶曲(しゅうきょく)」という岩石をみることができました。

説明書によると、褶曲とは地層が横からも圧力で波上に曲げられたものだそうです。ブラタモリのタモリさんになった気持ちを味わいました。また、先輩に「銀竜草(ギンリョウソウ)」を教えてくださいました。帰宅後調べると、別名「幽霊茸」とも呼ばれているようで、本当にそんな風に見えました。毎回、先輩方からいろいろ教えていただき勉強にな

ります。

帰り道では、こんにやくパークに寄りました。ほとバスも停まっており、多くの観光客でにぎわい、少しずつ日常が戻ってきていることを実感しました。温泉パラダイスですので、最後は甘楽ふるさと館で入浴し、本日の気持ちのよい疲れを流すことができました。

CLさん、SLさん、運転手さんをはじめ、一緒に参加した皆様のお陰で、楽しい一日を過ごすことができたと思っています。本当にありがとうございました。 (Y・K)



稻含山(山頂)